

IV 基本方針Ⅲ 水と緑と生きものとの共生【小平市生物多様性ビジョン】

1 水と緑と生きものとの共生の概要

市では水と緑のネットワークづくりのため、用水路の親水整備や流水の確保、農地、雑木林、屋敷林の保全、道路の街路樹や公園の整備などに取り組み、「都市のみどり」としての自然環境の保全に努めてきましたが、宅地化の進展とともに市のみどり率は減少し、平成19(2007)年の35.8%から平成29(2017)年は29.6%となっています。

こうした現状を踏まえ、今後は、樹林地や農地の保全、用水路の流水の確保などとともに、計画的に都市計画公園の整備を進めるなど、みどり率の維持・向上に向けた取組が必要となります。

市では小平市第三次環境基本計画の「基本方針Ⅲ 水と緑と生きものとの共生」を生物多様性基本法に基づく「小平市生物多様性ビジョン」として位置づけ、自然から得られる生態系サービスによって、我々の生活が支えられていることの理解を促進し、みどりの保全や創出、生物多様性の保全と持続可能な利用に努めるとともに、緑地や水辺の連続性を意識し、エコロジカル・ネットワークの形成を図ります。なお、本方針を踏まえて実施する取組は、「小平市みどりの基本計画」によって展開することで、計画の実効性を確保します。

数値目標	前年度(2020)	現状値(2021)	目標値(2030)
みどり率	29.6%	29.6%	29.6%※

※「小平市第三次みどりの基本計画」における目標値（減少率の抑制）

※みどり率については、中間報告時(令和8年度)に調査予定

2 施策1 生物多様性の理解と環境行動

生物多様性は、私たちに様々な恵み(酸素や食料の供給、気候の調整や水・大気の浄化、地域文化等)をもたらしており、私たちは、正しい理解のもとで生物多様性に配慮した行動を一人ひとりが心がける必要があるため、市内の生物多様性の実態を把握しつつ、観察会や講演会等で生物多様性に関する理解促進を図っています。

数値目標	前年度(2020)	現状値(2021)	目標値(毎年度)
自然観察会・講演会・展示会等の開催回数	3回	5回	5回

(1) 動植物の生態調査の実施

市民ボランティアの雑木林調査隊を組織し、アドバイザー2名と保存樹林等で植物や昆虫等の調査を実施しました。

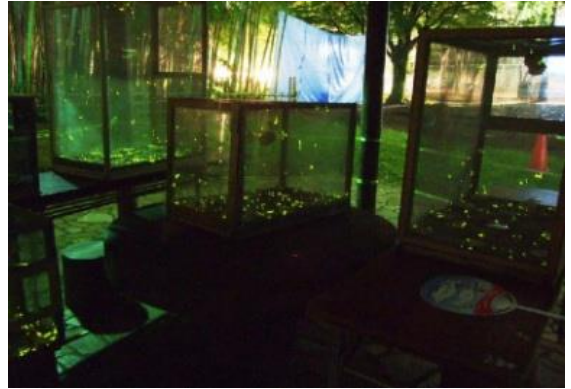
No.	種別	緑の骨格	所在	面積	説明	備考
試行	保存樹林	小川用水	小川町 1-399-7 他	3,925 m ²	彫刻の谷緑道北	2011～2012 試行実施済
1	保存樹林	玉川上水 五日市街道	上水本町 2-1281-1	1,823 m ²	いろりの里四季亭西	2013～2014 実施済
2	保存樹林	玉川上水	上水新町 1-1379-5 他	3,886 m ²	上水新町地域センター南	2015～2016 実施済
3	市有樹林	玉川上水	小川町 1-498 他	1,804 m ²	東小川橋東	2017～2018 実施済

(2) ホタルの自然繁殖を目指した小平ホタルの育成と普及

平成 23 (2011) 年度に改修したあじさい公園に隣接する用水路を小平ほたる会が活用して自然繁殖が行える環境整備に向け研究を進めています。また、小平ほたる会の会員が自宅で育てたホタルで、近くの学校などで観賞会を開催し意識向上に努めており、ホタルの飼育講習会なども開催しています。毎年 6 月中旬には「ホタルの夕べ」を開催し、数千人を集めるイベントとなっており、市民に対する普及啓発活動として重要となっています。

【ホタルの夕べ実績】

年度	会場	ホタル展示数	来場者数
2017	東部公園	3,370 匹	4,200 人
2018	東部公園	1,400 匹	2,300 人
2019	東部公園	荒天のため中止	
2020	東部公園	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
2021	中央公民館	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	



ホタル展示の様子

(3) 生物多様性の普及啓発事業

① 自然観察会「パークレンジャーと行く！小平の生きもの調査隊シーズン 2」

小平市立あじさい公園にて、自然環境調査を実施しました。あじさい公園を草地、樹林、水辺と 3 つの環境に分けて生きものを探したところ、168 種(植物 70 種、動物 98 種)の生き物を確認できました。

【取組内容】

項目	内容
自然観察会「パークレンジャーと行く！小平の生きもの調査隊シーズン 2」	自然環境調査の体験と専門家による生き物調査の実施 令和 3 (2021) 年 8 月 28 日 (土) 午前 9 時～11 時 小平市立あじさい公園
エコロジカル・ネットワークの研究	生き物調査の結果等を基にエコロジカル・ネットワークの研究



自然観察会チラシ



自然観察会の様子

②環境学習講座「落ち葉の下のミクロの世界をのぞいてみよう」

小平市内の土壌生物の観察を通して生物多様性について学ぶ講座を、多摩六都科学館と共催しました。

【取組内容】

項目	内容
環境学習講座「落ち葉の下のミクロの世界をのぞいてみよう」	顕微鏡を使った土壌生物の観察と生き物にやさしい暮らし方を学ぶ講座 令和4(2022)年2月11日(金・祝日)午後1時30分～3時 多摩六都科学館 科学学習室



講座の様子

③小平第三小学校 出前授業

小平第三小学校の3年生を対象に、ビオトープに関する出前授業を行いました。

【取組内容】

項目	内容
小平第三小学校 出前授業	小平第三小学校の中庭にあるビオトープなどを見学しながら、生息している生きものや、それらが好む樹木や草花を解説 令和3(2021)年6月15日(火) 小平第三小学校



出前授業の様子

④身近な外来種講座

小平市リサイクルセンターで行われた「こだいら環境デー」の中で、小平市内に生息する身近な外来種の生態や、自然・人の暮らしに与える影響について学ぶ講座を開催しました。

【取組内容】

項目	内容
身近な外来種講座	市内に生息する外来種の生態などについて学ぶ講座 令和3(2021)年9月25日(土) 午前11時15分～午後0時15分 小平市リサイクルセンター 多目的ルーム



講座の様子

3 施策2 みどりと生きものの保全・創出

小平市は、江戸時代の玉川上水の開通をきっかけに開拓が進んできた歴史を背景として、農地や雑木林、屋敷林、用水など、人の生活と密接に関わり合ってきた「都市のみどり」となる自然環境で構成されており、こうした自然環境には、様々な生きものが生息しています。

小平らしい自然環境を守り、また次世代へと繋いでいくために、緑地や水辺の保全・創出を図るとともに、在来種の保全や外来種への対策に取り組んでいます。

数値目標	前年度(2020)	現状値(2021)	目標値(2030)
一人あたり公園・緑地面積	2.77 m ²	2.78 m ²	2.92 m ²
農地面積	175 ha	173 ha	165 ha (2027) ※

※「小平市農業振興計画」における目標値(減少面積の抑制)

【用水路の適正管理】

(1) 用水路の概要

市内には玉川上水から小川用水・田無用水・関野用水・鈴木用水・野中用水・大沼田用水と次々に分水された用水路ができあがり、後には分水口を一つにまとめるための新堀用水も掘られました。また、野火止用水や砂川用水も市内を横断しています。



【用水路別延長の推移】

	2017年度末 (m)	2018年度末 (m)	2019年度末 (m)	2020年度末 (m)	2021年度末 (m)
新堀用水	6,094	6,094	6,094	6,094	6,094
小川用水	17,004	17,004	17,004	17,004	17,004
鈴木用水	6,648	6,633	6,633	6,633	6,633
田無用水	3,556	3,556	3,556	3,556	3,534
大沼田用水	3,351	3,327	3,323	3,323	3,323
野中用水	3,388	3,339	3,238	3,193	3,193
砂川用水	3,517	3,517	3,517	3,517	3,517
野火止用水	4,527	4,527	4,527	4,527	4,527
関野用水	885	885	885	885	891
合計	48,970	48,882	48,777	48,732	48,716

(2) 用水路の浚渫（しゅんせつ）の実施

用水路の適切な流水の確保に向けて川底土砂の掘削を実施しています。

【用水路浚渫の実績】

年度	箇所（用水名）	概算延長	備考
2017	新堀用水、大沼田用水	93.9 m	たかの台（胎内堀）、新小金井街道等
2018	新堀用水、大沼田用水、鈴木用水	121.3 m	たかの台（胎内堀）、大沼グラウンド南側等
2019	新堀用水、大沼田用水	68.0 m	たかの台（胎内堀）、大沼グラウンド
2020	新堀用水、小川用水、鈴木用水、田無用水	126.0 m	たかの台（胎内堀）、あかしあ通り、けやき通り、氷川通り、新小金井街道
2021	新堀用水、小川用水、田無用水	96.0 m	たかの台（胎内堀）、花の小径、鈴木地域センター通り、鈴木中通り、氷川通り

(3) 占用の許可等、用水路の適正管理

用水路の占用許可として用水路が国から譲与されたことに伴い、占用許可事務を東京都から引き継ぎ、小平市用水路条例に基づき占用許可事務を行い、占用料の徴収を行っています。

【用水路占用件数の実績】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
徴収対象件数	987	1,009	1,023	1,032	1,053

(4) 市民参加による保全活動等

毎年5月第3日曜日に用水路周辺の自治会、農業協同組合支部の参加により、「沼さらい」を実施しています。

【沼さらいの実施状況】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
参加団体	36 団体	35 団体	35 団体	中止	中止
参加人数	803 人	790 人	781 人		



沼さらいの様子



沼さらいの様子

【緑の保全・回復・創出】

緑地の確保と保全を実施するために市民が担い手となった緑豊かなまちづくりを推進し、質の高い公園づくりを目指して、新たな公園の整備及び既存の小規模公園のリニューアルを実施しました。

(1) 公園及び緑地等の概要

近年、公園を設置する場合には、市による設置公園と3,000㎡以上の宅地開発における提供公園、施設建設による自主管理公園など、多様な形態があります。また、緑地については、保存樹林や保存竹林、保存生垣に指定するとともに、保存樹木や名木百選に指定された樹木などの維持管理を支援し、緑の保全に努めています。

【公園の推移】

年度	公園数	公園面積 (㎡)	備考
2017	313	356,165	市設置1園、提供公園5園、自主管理0園
2018	315	356,715	市設置0園、提供公園2園、自主管理0園
2019	315	356,715	市設置0園、提供公園0園、自主管理0園
2020	319	358,798	市設置0園、提供公園4園、自主管理0園
2021	319	359,086	市設置0園、提供公園1園、自主管理0園

※令和3(2021)年度に1公園廃止(隣接する都市計画公園へ編入による)となっているため、令和3(2021)年度の公園数は前年に新設した公園数を足した数値とならない。

【保存樹林・保存竹林・保存生垣の推移】

(各年度1月1日時点・小数点以下切り捨て)

年度	保存樹林		保存竹林		保存生垣	
	件数	面積 (m ²)	件数	面積 (m ²)	件数	延長 (m)
2017	18	43,885	10	5,685	54	5,001
2018	18	43,357	9	4,485	55	4,953
2019	17	42,906	9	4,485	55	4,700
2020	17	41,713	8	3,906	54	4,570
2021	15	36,431	8	3,906	53	4,403

【保存樹木の推移】

年度	総件数	総本数 (本)
2017	182	1,217
2018	180	1,201
2019	177	1,202
2020	174	1,187
2021	173	1,173



小平市指定天然記念物の熊野宮のケヤキ

【補助内容】

補助制度	対象	補助
保存樹林に対する補助金交付制度	330 m ² 以上の樹林	1年・1 m ² あたり 8円
保存竹林に対する補助金交付制度	330 m ² 以上の竹林	1年・1 m ² あたり 8円
保存生垣に対する補助金交付制度	概ね 30 m以上の道路沿いの生垣	1年・1 mあたり 300円
保存樹木の剪定に対する補助金交付制度	幹回り 150 cm以上、高さ 15 m以上の樹木、幹の全体が隣地境界から 10 m以内	5年に1回、1本につき、支出額の2分の1の額と5万円とを比較していずれか少ない方の額の合計額。同一年度では10本が限度。
こだいら名木百選の剪定に対する補助金交付制度	こだいら名木百選に選定されている樹木	5年に1回、名木1本につき、支出額の2分の1の額と8万円とを比較していずれか少ない方の額の合計額。同一年度では10本が限度。

【公園再整備の実績】

あかしあ通りグリーンロード化基本計画に基づき、あかしあ通り沿いの公園の再整備を実施しました。

年度	公園名	内容
2013	学園野鳥公園	高木過多の植生に中低木を取り入れ、土壌改良を実施
2014	仲町第2公園(1年目)	既存トイレの撤去、だれでもトイレの設置
2015	仲町第2公園(2年目)	休憩機能の強化やバリアフリー化、健康遊具の設置

(2) 市民ボランティアによる花いっぱい運動の推進

小平駅南口ロータリー植栽部や公園、用水路沿い、緑道などに市民ボランティアによる植栽を実施しています。市報、市ホームページに掲載するとともに、市民まつりや産業まつりなどのイベントの際には取組を広報し、花いっぱい運動を推進しています。

【小平駅南口ロータリー植栽部植え込み実績】

年月日	植栽苗数	参加ボランティア人数
2017年 5月 27日	5,500株	118人
2017年 11月 25日	5,500株	151人
2018年 5月 26日	5,500株	167人
2018年 11月 17日	5,500株	128人
2019年 5月 25日	5,000株	172人
2019年 11月 16日	5,000株	145人
2020年 5月 18日	5,000株	0人
2020年 8月 20日	1,400株	0人
2020年 12月 1日	5,000株	16人
2021年 5月 25日	5,000株	9人
2021年 11月 16日	5,000株	10人



植栽後の集合写真

※令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、職員と少数のボランティアのみで実施。

(3) 公園・緑地の整備

グリーンロード沿いにある比較的面積の小さい公園を中心に、利用形態に合うよう毎年度1~2公園を小規模リニューアルし、さらに利用頻度が高く大規模な公園で、順次リニューアルしています。

また、宅地開発による提供公園が多い中、旧鈴木保育園跡地を平成28(2016)年度に鈴木町にここ公園として新たに整備しました。

【小規模公園リニューアル実績】

年度	公園名	リニューアル内容
2014	ひょうたん池公園	池施設内塗装塗り替え
2015	くぬぎ公園	遊具の撤去、テーブルベンチの新設
	上水新町第2公園 上水新町第3公園	樹木の剪定、テーブルベンチの新設 園名板修繕、植栽剪定
2016	上水新町第3公園 (追加)	園内のダスト舗装、公園灯LED化、テーブルベンチの新設、遊具等の塗装塗り替え、植栽見直し
	ひかりが丘公園	砂場及びフェンス修繕、植栽剪定
2017	ひかりが丘公園 (追加)	公園入口・水飲みバリアフリー化、公園灯LED化、ベンチ交換、ダスト舗装
	たけのこ公園	既存トイレの洋式化及び照明のLED化

【大規模公園リニューアル実績】

年度	公園名	リニューアル内容
2015	たけのこ公園	木製複合遊具の撤去、ステンレス製複合遊具の新設、複合遊具の安全領域ダスト舗装
	仲町第2公園	サークルベンチ及び健康遊具の設置
2016	無し	
2017	萩山公園	倒木危険樹木の伐採、イロハモミジの植栽
2018	東部公園	グラウンド整備及びスロープの設置によるバリアフリー化整備
2019	あじさい公園	南西側出入口のスロープ設置によるバリアフリー化整備

【市による新設公園】

年度	公園名
2016	鈴木町にこにこ公園

※開園は平成 29(2017)年 5 月 1 日



鈴木町にこにこ公園内の遊具

(4) 生垣造成の促進

緑を創出するために生垣造成の際に支援を実施しています。

【補助内容】

補助制度	内容
既存ブロック塀・フェンス等の撤去費用に対する補助	撤去工事費用の9割以内で、1mあたり6,000円、総額120,000円を上限として補助
生垣造成に対する補助	隣地境界に延長2m以上の生垣を造成する（道路に面する場合は幅員4m以上であるものに限る）場合、新規生垣造成工事費用の9割以内、1mあたり14,000円、総額280,000円を上限として補助

【生垣造成の実績】

年度	生垣設置		ブロック塀等撤去	
	申請件数	延長 (m)	申請件数	延長 (m)
2017	7	91.9	0	0
2018	9	140.9	3	28.6
2019	8	112.6	1	4.5
2020	5	67.5	0	0
2021	5	55.3	1	6.0

(5) 身近なビオトープづくりの支援

苗木などを配布し、市民が自宅などの身近な場所で、市内に生息しているチョウや鳥たちが好む花や実のなる植物を庭に植えるなどして、生きものたちの新たな生息空間をつくり出す身近なビオトープづくりの支援を平成 27（2015）年度から実施しています。

令和 2（2020）年度については、本支援事業で苗木を提供させていただいた観察モニターが記録した小鳥の写真をマップ形式で掲載した「身近なビオトープづくり～小鳥の観察モニター編～」リーフレットを作成しました。



「身近なビオトープづくり～小鳥の観察モニター編～」

【苗木配布実績】

年度	配布苗木種類及び配布数
2016	ハナユズ・フジバカマ・コオニユリ各 59 株
2017	マユミ・コムラサキ 各 46 株
2018	ウグイスカグラ・ガマズミ 各 40 株

(6) 市民参加による維持管理の推進

公園・道路ボランティアにより公園・歩道・駅前広場・用水等で花壇の管理や樹木の剪定などの緑化活動や清掃活動を実施しています。また、平成 28（2016）年度からアダプト制度が開始され、各団体が 1 つの公園ずつ維持管理に取り組んでいます。

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
個人登録	124 人	131 人	125 人	134 人	111 人	114 人
団体登録	27 団体	27 団体	25 団体	26 団体	26 団体	28 団体
取組総数	77	78	74	75	73	77
（公園）	62	62	62	61	61	65
（用水）	7	7	7	8	6	5
（樹林）	2	2	0	1	1	1
（竹林）	1	1	0	0	0	0
（緑道）	5	6	5	5	5	6
アダプト制度参加	2 団体	5 団体	8 団体	10 団体	11 団体	12 団体



中央公園アダプト制度活動区域

4 施策3 みどりと生きものの活用

私たちの生活は生物多様性の恵みに支えられています。自然環境の保全はもとより、生きものを市の貴重な資源として捉え、活用していくため、市では水や緑、動植物など生きもの全般から得られる恵みを持続可能で有効に活用するための取組を推進しています。

数値目標	前年度(2020)	現状値(2021)	目標値(2030)
公共施設における緑のカーテン設置数	67 施設	60 施設	75 施設 (毎年度)
学校給食における地場産農産物の納入率	小学校 30.1% 中学校 32.8%	小学校 33% 中学校 6.2% ^{※2}	各 30% ^{※1}

※1 「小平市農業復興計画」における目標値

※2 給食センター建て替え工事中の実績

(1) 用水路の親水整備

身近な環境資源として郷土性を重視しながら生物多様性に配慮し、自然を活かした親水整備などを実施しています。用水路の活用として、約 3,500 m を親水的整備、約 2,300 m を緑道化整備、約 300 m を公園として整備しています。

【親水的整備箇所(約 3,500 m)】

- ①彫刻の谷緑道(小川町 1 丁目 371～422 番地付近、立川通り沿い)
- ②つつかべの径(小川町 2 丁目 1949 番地付近、新小平駅東側)
- ③百日紅の小径(美園町 3 丁目 18～19 番付近、小平駅北第 2 有料自転車駐車場付近)
- ④やすらぎの小径(仲町 258～291 番付近、あじさい公園通りに接道)
- ⑤花の小径(大沼町 2 丁目 3 番付近、都営柳窪 3 丁目アパート南側)
- ⑥あじさいの小径(美園町 1 丁目 25 番付近、あじさい公園周辺)
- ⑦大門橋緑道(花小金井南町 2 丁目 17 番付近、せいぶ通りに接道)
- ⑧清風親水エリア(美園町 2 丁目 17 番付近、清風公園東側)
- ⑨回田水門緑道(回田町 62～85 番地付近、小平団地東交差点に接道)
- ⑩あかしあの水路(仲町 421～442 番地付近、あかしあ通りに接道)
- ⑪魁の流れ(小川町 1 丁目 308～310 番地付近、青梅街道沿い)
- ⑫テラスの小庭(仲町 145 番付近、なかまちテラス北側)
- ⑬八雲せせらぎ水辺(小川町 1 丁目 2571～2591 番地付近、青梅街道沿い)
- ⑭ハッピーとんぼ池(仲町 521 番地付近、一中通り沿い)
- ⑮新堀用水胎内堀(中島町 31 番付近)



新堀用水胎内堀



ハッピーとんぼ池

【緑道化整備箇所(約 2,300 m)】

- ①二ツ塚緑道(上水本町 2 丁目 8 番～13 番付近、府中街道に接道)
- ②上鈴木緑道(上水本町 1 丁目 28 番付近、上水本町第 6 公園北側)
- ③野火止用水緑道(中島町～小川西町に渡る長い緑道、最寄駅は東大和市駅、小川駅)

【公園としての親水整備箇所(約 300 m)】

- ①上水本町ビオトープ公園(上水本町 2 丁目 4 番 2 号)
- ②小平グリーンロード親水公園(天神町 3 丁目 4 番 1 号)
- ③鈴木町親水公園(鈴木町 1 丁目 51 番 10 号)
- ④花 6 親水公園(花小金井 6 丁目 21 番 29 号)



上水本町ビオトープ公園

(2) 緑のカーテンの推進

ゴーヤやアサガオなどのつる性の植物は、植栽すると緑のカーテンとなります。つる性の植物を窓や壁に茂らせると、夏の日差しをやわらげることで室温の上昇を抑え、エアコンの使用を抑制でき、省エネに貢献するとともに、街の身近な緑の創出にもつながります。

市では、緑のカーテンの推進を市全体で取り組んでおり、公共施設に率先して設置するほか、緑のカーテン講習会の開催や緑のカーテン用の種や苗の配布などにより、市民・事業者にも取組を普及啓発しています。

【緑のカーテン実施施設】 60 施設

庁舎、地域センター5 館、子ども家庭支援センター、学童クラブ 4 か所、花小金井南児童館、小川町二丁目児童館、保育園 9 園、健康福祉事務センター、リサイクルセンター、ふれあい下水道館、市営自転車駐車場 16 か所、小学校 9 校、中学校 1 校、公民館 8 館、中央図書館



市役所正面玄関の緑のカーテン



小平第九小学校の緑のカーテン